

研究課題別中間評価結果

1. 研究課題名： 自動チューニング機構を有するアプリケーション開発・実行環境

2. 研究代表者： 中島 研吾（東京大学情報基盤センター 教授）

3. 中間評価結果

当初の研究計画に従って予定の研究がすすめられ、論文の発表やソフトウェア公開など研究成果も十分発信されているとあってよい。また、予想の研究の進展も有り今後の成果も大いに期待できる。

様々なアプリケーション分野に沿った自動チューニングの手法をライブラリーとして実現し公開するのみならず、アプリケーションプログラムの実行時の消費電力を低減するための自動チューニング技術も世界に先駆けて開発し国際的に注目を受けている。

既に多くのソフトウェアを公開しており今後も多数の公開が予想されることを踏まえ、それらが多くのユーザを得てアプリケーション開発に実際に使われるための活動が強く期待される。